



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会

MANO a MANO

～「mano a mano」とはスペイン語で「手から手へ」という意味です～

会員総数 760 人

医師 159 人

コメディカル 601 人

【管理栄養士紹介登録数 41人】

平成21年4月20日現在

《目次》

～大きく変わりつつある糖尿病の薬物治療～

西田 賢司先生……Page 1

研究会の実施報告……Page 2

研究会の実施報告……Page 3

研究会のお知らせ……Page 4

大きく変わりつつある糖尿病の薬物療法

当会理事 都立府中病院 内科 西田 賢司

この号が発行される時期には、新緑の季節となっていることと思います。4月に新しい職場に就職したり、違う部署に移ったりした方々も、やっと少し慣れてきたところでしょうか？

さて、糖尿病の治療は今年から来年にかけて、また大きな転換期を迎えるかもしれません。

糖尿病の治療の土台は食事療法、次いで運動療法というのは昔からあまり変わりませんが、薬物療法については私が医療の世界に入った23年前から大きく変わってきました。

当時は内服薬といえばSU薬しかなく、その中にはオイグルコン・ダオニール・グリミクロンといった現在でも顔なじみの薬がすでにありました(トルブタミドなどはもう半世紀を経ていまだに使われています！)。その後、1990年代に入りαGI、インスリン抵抗性改善薬、速効型インスリン分泌薬などが相次いであらたに開発・発売され、その一方これらよりも古い歴史を持つビグアナイド薬が、乳酸アシドーシスによる発売中止という危機を乗り越え奇跡的に復活を遂げて、現在はメトホルミンが広く使われるようになってきたのは皆さんもご存じのことと思います。

このことはさまざまな治療手段の選択が可能になった半面、それらの使い分けについての情報がまだまだ不足気味しており、医療関係者の負担が大きくなっただけでなく、患者さんが混乱する要因が増えることとなりました。

これは、インスリンについても言えることで、23年前はまだまだブタ・ウシインスリンの全盛期で、やっと半合成ヒトインスリンが出てきた頃ですが、その後急速にヒトインスリンへの移行が進み、ここ10年は超速効型・持効型のインスリンアナログ製剤が新たに開発・発売され、こちらも有用な治療手段として使用できるようになりましたが、使い分け・覚える内容の増加についての悩みは内服と同様でしょう。

そこへまた新たな治療薬として、インクレチン関連薬が提供されることになります。すでに多くの方々がご存じだと思いますが、小腸から分泌されるホルモンの一つであるGLP-1のアナログと、その分解酵素阻害薬であるDPP-IV阻害薬です。これらは今までとまた異なる作用機序を持つ薬剤であり、今後糖尿病治療の有力な武器となる可能性を秘めています。

その一方、さらに新しい薬剤が加わることで、いったいどのような患者さんにどのような手順でどのような薬剤を適用していったらよいのかといったことがますます複雑になります。また、患者さんに正確な情報を提供する必要性がますます高くなり、医師だけでなく療養指導士の方々の役割もさらに大きくなることでしょう。

まずは、今までの薬剤に関する知識をもう一度整理してみるとともに、学会・研究会などでこの新しい薬剤についてできるだけ情報収集をしてみることをお勧めします。





研修会等の実施報告

第9回 西東京糖尿病療養指導士認定式

平成21年4月9日(木) 立川市女性総合センターアイム1階ホールにて実施されました。

平成20年度は新たに102名が西東京糖尿病療養指導士として認定されました。ご出席頂いた合格者ひとりひとりに認定委員長かんの内科菅野一男先生から認定証が手渡されました。また、特別講演として東京医科大学八王子医療センターの大野敦先生に「多摩地域における糖尿病療養指導士の活躍の場の模索」をテーマにお話をいただきました。認定者の皆さんは決意も新たに熱心に耳を傾けておられました。その後、北里大学薬学部 井上岳先生から当会の紹介と入会のお勧めをいただき、認定式は無事終了しました。認定式終了後、事務局宛に新認定者からの入会申し込みが続々と届いています。新認定者の皆様の今後の医療現場でのさらなるご活躍を期待いたします。



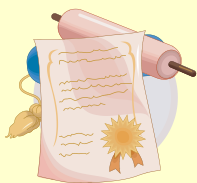
平成20年度認定合格者を代表して、看護師の石森みゆきさんに養成講座受講のご感想、合格の喜びなどをご執筆いただきました。

調布東山病院 看護師 石森 みゆき

私は内科外来の看護師として働いています。当院には、糖尿病専門外来があり、インスリン導入の患者さんへの自己注射指導や、自己血糖測定指導、フットケアなどを行っていますが、糖尿病専門医や糖尿病認定看護師と一緒に仕事をしていると、自分の専門知識の少なさを痛感し、患者さんに対しても積極的に関われずにいました。

そこで、糖尿病についてもう一度勉強し、知識を深めることにより、患者さんの個別性をとらえた療養指導ができるようになりたいと思い、本講座を受講することにしました。

先生方の講義は、テキストを読むだけでは得られない大変興味深いお話を聞くことが出来たので、毎回参加するのが楽しみでした。試験に向けては、日本糖尿病療養指導士用の問題集と、ガイドブックの内容を自分なりにまとめたものを繰り返し見て勉強しました。論文については、事前にほとんど練習できなかったのですが、患者さんの思いを受け止め、実行できそうなことを一緒に考えていくといったスタンスで、思いつくまま素直に書きました。問題点を絞るのに時間がかかってしまいましたが、無事合格できて本当にうれしかったです。認定式で先生が言われていた通り、私たちはスタートラインに立ったばかりです。これからも、さらに学習を深める努力を怠ることなくがんばっていきたいと思います。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。



平成20年度受講・試験合格状況

養成講座受講者数	112名
----------	------

認定試験(昨年度受験できなかった受験者を含む)

実施日	2月15日	合格者数	102名
受験者数	119名	合格率	85.7%

認定者職種	人数	%
看護師・准看護師	36	35
管理栄養士・栄養士	36	35
薬剤師	22	22
臨床検査技師	5	5
その他	3	3
合計	102	100



研修会等の実施報告

第5回 西東京心理と医療研究会ワークショップ

平成21年3月21日（土）武蔵野スイングホールにて開催されました。

代表世話人 朝比奈クリニック院長 朝比奈崇介

平成21年3月21日に我々は第5回西東京心理と医療研究会を武蔵境駅の北側にあるスイングホールで開催いたしました。

第1部は北野病院の看護師である中山法子先生の「糖尿病療養支援におけるナラティブ アプローチ」で幕を開けました。ナラティブという言葉は私の中では漠然としていて良くわからなかった言葉でしたが、中山先生のお話で患者さんと自分の関係の中でお互いを育てていくことであり、またその関係をいかに大きな視点から客観視できるかが「技法」として「アプローチ」と呼ばせる肝要な点であるということ学びました。



第2部は「糖尿病劇場 患者面接一心にアプローチ」という演目で劇をいたしました。1幕目は一生懸命なのですが患者さんのニーズに合致していないがために空回りしている栄養士の話、2幕目が本来の血糖コントロール目的について共通の理解が得られていないために「同床異夢」になってインスリン導入がうまくできない医師・患者関係の話を、本音をしゃべる黒子というものを使って表現しました。京都医療センターの岡崎先生と東京大学の大橋先生の絶妙なトークは見事でした。この劇は5月に大阪で開催される日本糖尿病学会で「糖尿病劇場」として上演される予定です。皆様も万障繰り合わせていらしてください。

第7回 TAMA生活習慣病フォーラム

平成20年度から
間接事業として
加わりました。

平成21年3月14日（土）調布市文化会館たづくりにて開催されました。

平成21年3月14日（土）に調布市にあります、調布市文化会館たづくりにて第7回TAMA生活習慣病フォーラムが開催されました。

第1部・一演題目は かたやま内科クリニック院長、片山先生より「インスリン導入ははじめの一步」という内容でBOT導入方法インスリンのデバイスの特徴・インスリン導入時の必要物品及び教育資材等基礎的なお話を頂きました。

二演題目は複十字病院看護師・石黒先生より自己検査用グルコース測定器・穿刺器具の使用・必要血液測定時のトラブル回避方法のお話を頂きました。



その後、休憩時間を取り 会場内に特設ブースを作り3社よりデモ機を持ち込み会場にお越しの方々には直接触ってもらいました。当研究会スタッフの先生方もブースに立ち質問等受け大反響となりました。

第2部は住友先生・小川先生・荻本先生、コメデカル2名を含めディスカッションを行い、チーム医療の上手な立ち上げ方法について活発な意見交換を行いました。参加者は100人以上を超え大盛況のうち終わることが出来ました。



研究会他のお知らせ

◆ 直接事業 ◆ 間接事業

◆ 西東京臨床糖尿病研究会総会・第45回例会（※お申し込みは不要です。）

テーマ：「糖尿病の皮膚と足」

～今、医療連携にもとめられるもの～

開催日：平成21年6月20日（土）15:00～18:20

場 所：府中市中央文化センターひばりホール

府中市府中町2丁目25番地（京王線「府中駅」より徒歩10分）

参加費：会員無料 非会員：1,000円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：＜2群＞申請中

※詳細は同封のパンフレットをご覧ください。

総会については出欠のハガキを同封しておりますのでお手数ですがご返送下さい。

◆ 第18回武蔵野糖尿病医療連携の会（※お申し込みが必要です。）

テーマ：「糖尿病眼病変」

開催日：平成21年5月9日（土）17:00～19:00

場 所：ザ・クレストホテル立川 4階「桜の間」

TEL 0422-521-1111（JR立川駅南口徒歩7分）

参加費：医師1,000円 医師以外500円

申込み：Eメールにて申し込みください。

宛先：Sakiko.tsutsumi@sanofi-aventis.com

問合せ：FAXにてお問い合わせください。

サノフィ・アベンティス㈱ 担当：堤

FAX番号：042-367-2958

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：2単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：＜2群＞申請中

☆日医生涯教育制度3単位

◆ 平成21年度 西東京糖尿病療養指導プログラム（※お申し込みが必要です。）

開催日：平成21年7月12日（日）

場 所：東京経済大学 国分寺キャンパス（JR国分寺駅徒歩13分）

参加費：6,000円 ※詳細は同封のパンフレットまたは当会ホームページをご覧ください。

＜教育看護系＞第6回 西東京糖尿病教育看護研修会

＜病態栄養系＞第6回 西東京病態栄養研修会

＜薬 剤 系＞第6回 西東京薬剤研修会

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：10単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第2群＞：2単位申請中

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位＜第1群＞申請中

参加受付：同封の申込書をFAXいただくか、当会HPの参加申し込み頁よりお申込ください。

◆ 第8回西東京CDE研究会総会（※お申し込みが必要です。）

開催日：平成21年8月1日（土）15:30～19:30

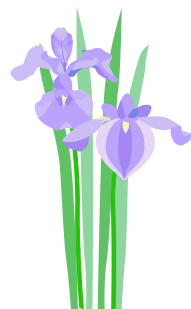
場 所：府中グリーンプラザ2階けやきホール

参加費：1,500円

☆西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位：7単位

☆日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位（第2群）：1単位申請中

※詳細は当会ホームページをご覧ください。



NPO法人 西東京臨床糖尿病研究会 事務局

〒185-0012 国分寺市本町3-10-22 オリエンツプラザ402

TEL：042(322)7468 FAX：042(322)7478

